

第5回宇宙輸送システム部会 議事要旨

1. 日時：平成25年5月17日（金） 10：00－12：10

2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室

3. 出席者

(1) 委員

山川部会長、白坂部会長代理、緒川委員、木内委員、鯨井委員、松尾委員、御正委員、薬師寺委員

(2) 事務局

西本宇宙戦略室長、明野宇宙戦略室審議官、國友宇宙戦略室参事官、山田宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

(1) 中間とりまとめの審議

事務局より資料1の説明を行い、以下のような意見があった。

○世界の潮流として、ロケットの開発や運用の主体が民間に移行していることを踏まえ、日本でも従来の開発体制を抜本的に見直すべき。

○ロケットの技術者はJAXAと民間にいるため、開発主体が民間になったとしても、民間の人材とJAXAのノウハウを役立てるべく、人材の身分を保証しながら全体として有効に活用していく仕組みが必要。

○打ち上げ商業市場の変化に対応できなかったことが、現在の我が国の打ち上げサービスの競争力の低さにつながっていることから、打ち上げ商業市場の変化に対応する体制が日本でも必要がある。

○JAXAの役割そのものについて、もっと深い議論が必要である。

○開発に当たっては、中間計画を適切に行うなど事業の進捗を管理する仕組みを取り入れるべき。

○新たな基幹ロケットの開発は必要だと思うが、これまでのJAXAの役割をはじめとする開発体制は見直すべき。

部会の終わりに、山川部会長から、本日の議論を踏まえた民間事業者としての考え方について、次回の部会で説明するよう鯨井委員に要請された。

中間とりまとめについては次回の部会で再度審議を行うこととなった。

以上